

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市南吹田5丁目プロジェクト	階数	地上10F
建設地	大阪府吹田市南吹田5丁目14番7、	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、第二種住居地域	平均居住人員	0 人
地域区分	6地域	年間使用時間	0 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2018年4月23日
敷地面積	548 m <sup>2</sup>	作成者	日比
建築面積	247 m <sup>2</sup>	確認日	2018年4月23日
延床面積	2,038 m <sup>2</sup>	確認者	日比



ださい

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.9

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
環境に配慮した建築を目指して計画を行っている。		
<b>Q1 室内環境</b> 居室のサッシはT-2サッシを採用し外部からの騒音に配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> ゆとりある天井高としフレキシビリティの向上に配慮した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 街並みに配慮した色使いとした。敷地内の植栽には生態系に悪影響を及ぼす外来種は使用しないようにした。
<b>LR1 エネルギー</b> 全住戸の給湯器には排熱を利用するタイプのものを採用し、環境に貢献した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 汚染物質を含有する材料は極力使用せず、環境に配慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 駐輪設備を十分に計画し周辺に違法に駐輪することがないように配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0011

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)吹田市南吹田5丁目プロジェクト					
	建設地	大阪府吹田市南吹田五丁目14番7、14番8、14番9					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

## エネルギー消費量の報告

対象外

### 【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.6	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

### その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		